

與諸惡人俱墮地獄云云。謗法を責ずして成佛を願はば、火の中に水を求め、水の中に火を尋るが如なるべし。はかなしはかなし。何に法華經を信じ給とも、謗法あらば必地獄にをつべし。うるし(漆)千ばいに蟹の足一つ入たらんが如し。毒氣深入失本心故は是也。經云、在在諸佛土、常與師俱生。又云、若親近法師、速得菩薩道。隨順是師學得見恆沙佛。釋云、本從此佛初發道心、亦從此佛住不退地。又云、初從此佛菩薩結緣、還於此佛菩薩成就云云。返々も本從たがへずして成佛せしめ給べし。釋尊は一切衆生の本從の師にて、而も主親の徳を備へ給。此法門を日蓮申故に、忠言耳に逆道理なるが故に、流罪せられ命にも及しなり。然どもいまだこりず候。法華經は種の如、佛はうへての如、衆生は田の如なり。若此等の義をたがへさせ給はば日蓮も後生は助申まじく候。恐恐謹言。

建治二年丙子八月三日

會谷殿

日蓮花押